

17. 市場出荷時の子牛発育が肥育成績に及ぼす影響

東部振興局生産流通部、西部振興局生産流通部
○繁田政豊、高木喜代文、川ノ上実、田中伸幸、後孝典

1. 背景及び目的

現在、子牛市場における価格評価は日齢体重、血統、肥育農家の目視によるもので決定している。また繁殖農家を作るべき高品質な子牛とは肥育成績が安定しているものであるが、血統的要因の検証が中心で出荷子牛の体型と肥育成績との細かな因果関係が検証されていない。

このため市場出荷子牛の体型と肥育成績の数値的な検証を行い、検証結果による指標を用いた子牛飼養管理指導を行うことで安定した高品質な子牛生産を目的とする。

2. 材料及び方法

平成 17 年より西部地域の後継者グループ市場出荷子牛を中心に体高（全国和牛登録協会標準発育曲線を活用）、胸囲、体重を測定し、体型と肥育成績との因果関係を検証した。

3. 検証結果考察

子牛市場出荷時の日齢体重が大きい方が、肥育終了時の枝肉重量が大きい傾向にあった。ただし体高と日齢体重のバランスの取れていない、いわゆる過肥にあたる牛についてはその限りではなかった。また子牛市場出荷時の体高の大きい方が肥育終了時の脂肪交雑が良い傾向にあった。以上のことから子牛市場出荷時の子牛の発育バランスが肥育成績に影響していることが示唆された。

4. 現状の取組

上記検証結果に基づいた子牛飼養管理指導用の指標を作成し、山香農協管内において市場出荷前定期体側及び生後 5 ヶ月までの飼養管理指導を重点に実施した結果、従前と比較し平均体高で 2cm の伸びを確認することができた。

5. まとめ

高品質な子牛生産のためには市場出荷時の体高、体重のバランスは非常に重要な要素である。現在の種雄牛能力から考えると、飼養管理において体高の改善は十分に検討できる。今後、さらなる初期の子牛飼養管理を実施し、高品質な子牛の安定生産に努める必要がある。